

当院では 2014 年 3 月よりカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の保菌が複数見られていることから、右京保健センターの指導および院外の感染制御チームとの連携の下、感染防止対策に努めております。なお、この細菌による感染症の発症例はございません。

当院では、この状況の早期終結を目指し、一部の病棟への新規入院を制限するとともに、これらの病棟に入院中の患者さんには、スクリーニング検査へのご協力をお願いする場合がございます。これは、カルバペネム耐性腸内細菌は、感染症を引き起こさない限り、熱発などの症状がでないため、症状のない方にも検査にご協力いただくことが、感染防止に重要であるためです。

従前通り、医療従事者に対し、手指消毒衛生の徹底を指導しておりますが、患者さん、御家族にも、石けんによる手洗い、アルコールジェルによる手指消毒に協力いただきますよう、引き続きお願い申し上げます。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のうえご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

多剤耐性菌について詳しくお知りになりたい方はこちらをごらんください。

日本感染症学会 Q & A

<http://www.kansensho.or.jp/mrsa/100913publicqa.html>